

Hospital Concert

SOMETHIING NEW



トランペット&ウクレレの茅野嘉亮とピアノ&鍵盤ハーモニカの野口茜で 2014 年に新しく結成した DUO「Somethiing new」何か新しい事をというコンセプトで活動している DUO で、Somethiing の「i」が 2 つあるのは「i」を人に見立てて DUO ということを意味している造語。

音楽的には、2 人の音楽のルーツのジャズ、ラテン、クラシック、クラブミュージック等を基本に、二人の感じる日常的事や景色をそのまま音楽に表現した、絵を書くように作曲したジャンルレスのオリジナルを中心に演奏している。

【日時】 2015 年 6 月 18 日 (木) 17:00~17:40

【場所】 がん研有明病院 1 階ホスピタルストリート



がん研 有明移転 10th Anniversary



【プログラム】

1. What a wonderful world

2. Time for a walk!

3. もしも晴れたら

(その他オリジナルからカバーまで演奏します)

【プロフィール】

茅野 嘉亮 kayano yoshiaki (トランペット&ウクレレ)

大学在学中よりプロのジャズトランペッターとして活動を開始する。
YUKI、野宮真貴、青木カレン、中塚武等のサポートやスタジオワークなどに携わりながら、2010年には自身初のアルバム「Cosmology」をリリース、その後も楽曲制作やプレーヤー活動の傍ら、数々のミュージシャンのコンポーザーやプロデューサーとしても多数の作品に参加、2013年にはウクレリズム「Jolly」をリリース、ウクレレプレーヤーとしてもマルチな才能を発揮している。



野口 茜 Noguchi Akane (ピアノ&メロディオン)



幼少期よりピアノを始め、6歳の時には既に作曲を開始するなど、天性の才能を開花させる。その後もクラシック音楽を中心に、様々なジャンルの音楽に触れる中、大学在学中に出会ったラテン音楽に魅了され、日本では珍しい女性ラテンピアニストとしてプロデビューする。昨今はラテン以外にもJAZZ、Funk、Classic、POPSなど（つんく、My Little Lover、さかいゆう等）全国で演奏活動が続けながら、海外有名ミュージシャンとの競演なども果たしている。また、テレビCMやゲーム音楽等へも楽曲提供を行うなど、プレーヤーとしての才能だけではなく、コンポーザーやアレンジャーとしての顔も合わせ持つ、才能豊かなミュージシャン。

がん研ボランティアシンボルマークのご紹介



がん研ボランティアシンボルマーク

がん研究会のかにのシンボルマーク  に因み、かにのはさみがボランティア (Volunteer) のVマークを象り、2つのかにのはさみは手と手を取り合い、助け合いをイメージしたマークです。

ホスピタルコンサートのご報告



今月は、「なにか新しいことを」というコンセプトのもと活動されているデュオ「Something new」のトランペット&ウクレレ奏者矢野嘉亮さん、ピアノ&鍵盤ハーモニカ奏者の野口茜さんをお迎えして、ホスピタルコンサートを開催しました。Somethingの「i」が2つあるのは、「i」を人に見立ててデュオしていることを意味する造語だそうです。ホスピタルコンサートでは、「what a wonderful world」や「涙そうそう」などのカバー曲だけでなく、「もしも晴れたら」「time for a walk」といったオリジナル曲も演奏してくださいました。当日はあいにくの雨天でしたが、お二人の演奏が梅雨のじめじめとした気分を吹き飛ばしてくれ、患者さんも手拍子をたたいたり、歌を口ずさんだりと楽しそうに演奏をきいておられました。また、演奏終了後には門田院長からの花束贈呈があり、会場は多きな拍手に包まれました。演奏を聴いた人が元気になるような、素晴らしいコンサートとなりました。